

World Bosai Forum 2025

開催趣意書

2024年7月

World Bosai Forum 2025 実行委員長

東北大学災害科学国際研究所所長 栗山進一

一般財団法人世界防災フォーラム代表理事

東北大学災害科学国際研究所 副所長 小野裕一

ご挨拶

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、「世界防災フォーラム」の開催につきまして一方ならぬご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2017年に第1回を開催した「世界防災フォーラム」は次回開催で4回目を数えます。次回は「World Bosai Forum 2025（世界防災フォーラム2025）」と称し、2025年3月7日（金）から3月9日（日）までの予定で、仙台国際センターにて開催します。

防災に関する国際会議は、国連が主体のもの、学術的な会議など世界各地で多様なイベントが実施されていますが、多様なステークホルダーが、災害による被害を減らす具体的な解決策に着目し、情報共有し、議論を行うことができる国際的な「場」はありませんでした。

「World Bosai Forum」は、産官学民、国家、民族、ジェンダー、年齢、宗教、障害の有無など、区別なく全ての人が、災害リスク削減の解決策について互いに学びあい、新たな価値を創造していく場です。

エキスパートが一般市民に Bosai の最新動向や想いを伝えたり、逆に一般市民が専門家に体験や要望を語るなど、普段接することのない異業種、異分野の方々と直接会話する機会を設けることにより、Bosai に関する新しい発想が生まれることを期待しています。東日本大震災を経験した東北の地から Bosai が世界に広がり、私たちの究極のゴールである「災害で苦しむ人をなくす」という世界の実現に向けて、前進することが私たちの希望です。

昨今、気候変動による温暖化が加速し気象災害の激甚化や、大地震の発生による災害被害が拡大しています。Bosai は全ての人にとってもはや待ったなしの状況です。全ての人が今までの行動を改めなければなりません。

どうか、産官学民全ての枠組みを超え、世界中の災害で苦しむ人をなくすため、多くの皆様からのご支援、ご出展、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

2024年 7月吉日

謹白

World Bosai Forum 2025 実行委員長

東北大学災害科学国際研究所所長 栗山進一

World Bosai Forum 2025 実行委員

一般財団法人世界防災フォーラム代表理事

東北大学災害科学国際研究所 副所長 小野裕一

開催概要

1. 会議名称

World Bosai Forum 2025（日本語 世界防災フォーラム 2025）

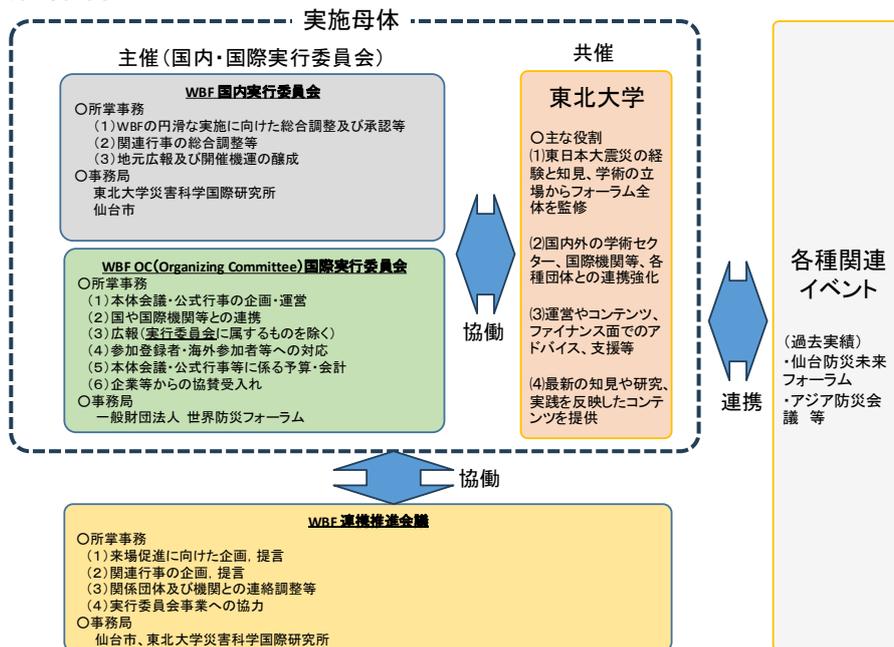
2. 主催

World Bosai Forum 2025 実行委員会

（実行委員長 東北大学災害科学国際研究所所長 栗山進一）

3. 実行体制

実行体制



4. 日程

2025年3月7日（金）～3月9日（日） オンライン配信あり

※別途前後の日程でオンデマンドでのアーカイブ配信なども計画中

5. 会場

仙台国際センター

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

青葉山公園 仙臺緑彩館

〒980-0863 仙台市青葉区川内追廻無番

（アクセス）

電車：仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩7分

バス：るーぷる仙台「博物館・国際センター前」から徒歩2分

6. 会議の目的と開催意義

「世界防災フォーラム」は東日本大震災を経験した東北の地で、災害で悲しむ人々をこれ以上増やしたくないという願いを込めて始まりました。

2015年、仙台で開催された第3回国連防災世界会議で、防災に関わる取り組みの指針である仙台防災枠組2015-2030が策定されました。仙台防災枠組には、防災投資の重要性や、「より良い復興」など、日本の推進する考え方が多く取り入れられています。

また、日本は世界でも有数の災害が頻発する国です。災害に備え、被害を減らす防災対策だけでなく、人が災害に遭ったあと立ち直るための、被災者のところに寄り添った支援、文化としての災害の伝承など、多くの経験と解決策を有しています。

一方、これまで、防災に関する国際会議は、国連が主体のもの、学術的な会議など世界各地で多様なイベントが実施されていますが、災害による被害を減らす具体的な解決策に着目、情報共有し、議論を行うことができる国際的な「場」はありませんでした。そこで、災害リスク削減の解決策を、国内外、産官学民さまざまな立場から提案し、互いに学びあい、新たな価値を創造し、仙台防災枠組みを推進していく「場」をこの仙台的地に立ち上げました。それが「世界防災フォーラム」です。

今般、2025年に第4回を迎える「World Bosai Forum」では、待ったなしの課題である気候変動への適応や、誰も取り残さない防災、全ての人に対し行動変容を促しBosaiに取り組むことなどをテーマに、ポスト2030を見据えて開催します。

「World Bosai Forum」が、多くの知恵を集約し、新たな連携を形作りながら解決策を社会に実装していくためには、多様な方々からのアイデアやリーダーシップが必要です。つきましては、本フォーラムが魅力的で実りのあるものとするために、多くの方々のご参加をお願いするとともに、皆様からのご支援を賜りたくお願いする次第でございます。

7. 開催計画の概要

1) 参加方法

防災関係者は有償、ただし、セッション等の発表を行うことができる。

市民セッション聴講は2023年同様、無償参加が可能。

なお、2023年まではセッション主催にあたり発表料が必要でしたが、今回からは有償参加を条件に、発表に際し別に発表料は不要となります。(審査あり)

項目	内容	金額	備考
一般	早割 (2024/8/1-2025/1/31)	60,500	すべてのセッション（現地、ストリーミング、アーカイブを視聴可能）、セッションを開催、登壇が可能 エクスカージョン、レセプションに参加できる（別途有償）
	通常 (2025/2/1以降)	82,500	すべてのセッション（現地、ストリーミング、アーカイブを視聴可能）、セッションを開催、登壇が可能 エクスカージョン、レセプションに参加できる（別途有償）
大学生	早割 (2024/8/1-2025/1/31)	30,250	すべてのセッション（現地、ストリーミング、アーカイブを視聴可能）、セッションを開催、登壇が可能 エクスカージョン、レセプションに参加できる（別途有償）
	通常 (2025/2/1以降)	41,250	すべてのセッション（現地、ストリーミング、アーカイブを視聴可能）、セッションを開催、登壇が可能 エクスカージョン、レセプションに参加できる（別途有償）
オンライン	-	30,250	すべてのセッションについて、ストリーミング、アーカイブをオンライン視聴可能 現地参加できない。セッション開催はできない。
無償登録	-	-	現地参加のみ、一部セッション等は参加できない。 ストリーミング、アーカイブは視聴できない。 レセプションは参加できない エクスカージョンは参加できる（別途有償）

※高校生以下は無償でセッション開催、現地でのすべてのセッション聴講が可能です。
※一部のワークショップやセッションはストリーミング配信やアーカイブを取らない場合があります。

※国連および国連関連機関の方は事務局まで個別にお問い合わせください。

2) 内容

申し込み方法については別途発表する募集要項をご参照ください。

セッション 約 50 枠

ミニプレゼンテーション 約 50 枠

ポスターセッション 約 50 枠

ワークショップ・プレゼンテーション 約 20 枠

展示 (World Bosai EXPO) 約 50 ブース

オンライン発表 等

8. 参加予定者数 (参加登録者数 目標)

1) 現地参加

研究関係者・専門家・企業関係者 約 500 人 / 一般市民 約 1,500 人

2) オンライン参加等

研究関係者・専門家・企業関係者 約 100 人

9. 後援 (2024 年 6 月現在)

外務省、文部科学省、国土交通省、国立研究開発法人科学技術振興機構

10. お問い合わせ先

事務局 一般財団法人世界防災フォーラム

メール wbf2025@worldbosaiforum.com

電話 022-263-1688

(なるべくメールでのお問い合わせをお願いします)

以 上